

## No.1 八戸産ぶどうを活用したワイン産業の創出による地域経済活性化事業（推進）

### 1. 事業概要

担当部署：農業経営振興センター

<p>目 的</p>	<p>八戸市の主要農産物の1つである葉たばこの生産が、たばこ需要の減少により縮減していることから、平成26年5月に市の附属機関として「八戸市南郷新規作物研究会議」を創設し、その会議の検討の結果、国内市場が拡大傾向にあり、ぶどうの生産、ワインの製造、物流及び販売等裾野が広く、飲食業等の既存の民業への波及効果の高いワイン産業の創出により、付加価値の高い農業の振興による地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>
<p>事業期間</p>	<p>平成30年度～令和4年度（5年間） ※横展開タイプ          ※イガラシ綜業(株)より、企業版ふるさと納税を活用した200万円の寄附金を受納した(R2/6/24)ことで、事業期間を2年間延長するインセンティブを受けた。</p>
<p>令和4年度実績額</p>	<p>総事業費：5,186千円（うち国費：2,593千円）</p>
<p>交付金事業の取組及び実績</p>	<p>【過去の取組】          別紙資料参照</p> <p>【令和4年度の取組】</p> <p>①八戸市ワイン需要拡大プロジェクト          概要：市内のワイン需要の拡大や人材育成のため、八戸ワインフェス、八戸ワイン産業振興セミナー及び八戸ワインカレッジ等の市民向けのイベントを開催する。          実績：八戸ワインフェス 1回開催          八戸ワイン産業振興セミナー 2回開催（延べ50人参加）          八戸ワインカレッジ 1回開催（オンライン講義/22人参加）          販売促進事業（8baseで実施） 3回開催          事業費：693千円</p> <p>②八戸市ワイン産業創出支援事業          概要：ワイン用ぶどうの生産量のさらなる増大による農業振興を目的に、南郷地区で農業生産を行う市内農業経営体のワイン用ぶどうの苗木購入に要する経費を補助する。（補助率1/2以内）          実績：交付先 計8農業経営体          事業費：1,851千円</p> <p>③八戸市ワイン用ぶどう雨よけ施設等整備支援事業          概要：ワイン用ぶどうの品質の向上による農業振興を目的に、南郷地区でワイン用ぶどう栽培を行う市内農業経営体のワイン用ぶどうの雨よけに必要なビニール等の購入に要する経費を補助する。（補助率1/2以内）          実績：交付先 計5農業経営体          事業費：1,920千円</p> <p>④ワイン用ぶどう生産講習会の開催          概要：ワイン用ぶどうの生産に関する技術力の向上を図るため、ワイン用ぶどう生産経営体を対象とした生産講習会を開催する。          実績：3回開催（延べ20人参加）          事業費：222千円</p>

	<p><b>⑤八戸市ワイナリー創出支援事業補助金</b></p> <p>概要：ワイナリーの整備に対して補助による支援を行う。</p> <p>実績：交付先 1社</p> <p>事業費：500千円</p>
K P I	別紙資料参照
担当部署 評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署 評価理由	KPIは、目標値に達しなかったものの、ワイン需要の拡大や人材育成のためのイベント、並びにワイン用ぶどうの生産量増大に向けた取組等を実施することにより、概ね事業の目的とする効果が得られたとみなせるため。

## 2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ⑤効果の有無はまだわからない

委員メモ欄
-------

(評価の凡例：選択肢)

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPIの実績が出ていない場合